

チャペル週報

No.21

2018.11.5 ~ 11.9

だから、明日のことまで思い悩むな。
明日のことは明日自らが思い悩む。
その日の苦勞は、その日だけで十分である。
(マタイによる福音書 6章34節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

11月5日(月) 神 大森 悦子 (日本基督教団 宝塚教会教会員)
経 音楽チャペル バロックアンサンブル
人 小西 砂千夫 (人間福祉学部教授)
理 有澤 慎一 (日本基督教団 池田五月山教会牧師)
聖和 聖書物語「エルサレムにやってきたイエス」

11月6日(火) 神 賛美歌⑦ 橋本 祐樹 (神学部助教)
文 Ruth M. Grubel (社会学部教授・宣教師)
社 「いのち」について考える① 打樋 啓史 (宗教主事)
法 大宮 有博 (宗教主事)
経 音楽チャペル 聖歌隊
商 山口 隆之 (商学部教授)
国 音楽チャペル バロックアンサンブル
理 前川 裕 (宗教主事)
総 関西学院大学YMCA 神戸三田キャンパス
教 梶原 直美 (宗教主事)

11月7日(水) 院 Andreas Rusterholz (文学部宗教主事)
神 Mission in Dialogue報告
社 社会学部教員による Bossa Nova チャペル
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 舟木 譲 (宗教主事)
商 音楽チャペル マンドリンクラブ
人 安田 美予子 (人間福祉学部教授)
理 音楽チャペル KG Blessed Choir
総 村瀬 義史 (宗教主事)
教 広瀬 尚哉 (社会学部3年、献血実行委員会)

11月8日(木) 神 鐵口 宗久 (鎮西学院宗教主事)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 音楽チャペル ハンドベルクワイア
法 大宮 有博 (宗教主事)
商 岡村 浩一郎 (商学部准教授)
国 Chapel in English 児島 幸治 (国際学部教授)
総 後藤 直哉 (啓明学院中学校・高等学校教諭)
聖和 施設実習、児童館実習をふりかえって

11月9日(金) 神 「震災を覚えて」礼拝④⑧ 神学部メガホンプロジェクト
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
人 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."
理 音楽チャペル 聖歌隊

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)
11月9日(金) 商学部のために 林 隆敏 (商学部長)

世界のクリスマス

鮎川 潤

来月はクリスマス。アドベントがもうすぐ始まる。

北欧では日照時間が短く、寒く長い夜が続く。4週間前から一本ずつ点灯していくろうそくの光が生活空間を明るくしてくれる。

ヨーロッパでは、クリスマスマーケットがにぎわう。かわいい小物や、愛をしたための大きなハート型のクッキーが売られ、グリューワインと呼ばれる飲み物が冷気のなかで身体を暖めてくれる。

日本で、もっともポピュラーなクリスマスソングといえば「きよしこの夜」で、誰もが気軽に口ずさんでいる。ただ、ヨーロッパの教会のクリスマスで驚いたのは、この曲が特別な曲だったことだ。ソリストが堂々と詠唱している。

いままで経験した、もっとも鮮烈なクリスマスはと聞かれたならば—あえて関西学院の設立や個人の信仰を度外視して答えるという前提に立っての回答だけれども—、それはギリシャ正教のクリスマスだ。もっとも楽しい雰囲気なのはと聞かれたならば、やはりカトリックのクリスマスだろう。カトリック教会では、イエス生誕の馬小屋のミニチュアなどがかわいらしく並べられ、目を楽しませてくれる。

ギリシャ正教のクリスマス礼拝がインパクトを持つ理由は、キリスト教はヨーロッパ文明のなかで生まれたものではないことを分かせてくれるからだ。教会の聖歌隊は毎日曜日と同様に男声合唱だ。この聖歌隊が、聖歌ではなく聖書を朗詠していると推定されるのだけれども、教会の礼拝の持続低音を作り出す。今まで見たたり聞いたりしたことのない宗教空間が作り出される。

日本にギリシャ正教の教会があるかどうかは知らないが、ロシア正教の教会はある。ロシア正教とギリシャ正教のクリスマスの違いを、一言で言えといわれたならば—これもまた不謹慎な比喻で申し訳ないが—京都の金閣寺と銀閣寺の違いのようである。もちろん絢爛豪華なほうがロシア正教だ。

今年は、どこかの教会でクリスマス礼拝に参加し、世界のクリスマスに思いを馳せてみてはいかがだろうか。（なお、もしこの短文に興味を持って、日本でキリスト教の教会でクリスマスに参加したりデートしてみようと思いついた学生に一言だけ助言するなら、新興のものではなく、プロテスタントを含めて明治時代以前に設立され風雪に耐えてきた教会に出かけるのがいいように思う。）

(法学部教授)

●第214回ランバス演奏会 クアクレとヴァイオリンによる「ラトビア伝統音楽の調べ」

昨年好評を博しましたラトビアの伝統音楽の調べ、さらにレパートリーを拡充して開催いたします。ラトビア人は別名「歌う民」。古来より日々の生活、年中行事と冠婚葬祭、めぐる季節や美しい大地を歌で表現し伝えてきました。伝統的な民謡、大切に歌われている合唱曲を、クアクレとヴァイオリンで演奏します。

溝口明子／クアクレ 秦 進一／ヴァイオリン

と き:11月8日(木)17:00開演

と ころ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:宗教センター <入場無料>

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】

(17:50~18:20 1405教室)

11月主題:「真の共生社会を目指して」

8日(木) 井上 智(神学部助教)

15日(木) 山本 俊正(商学部宗教主事)

22日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

29日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

●大学主催秋季人権問題講演会「終わっていない原発避難」

2011年3月、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故が起こり、大勢の人が避難指示を受けて、あるいは事故による放射能汚染を懸念し、遠く離れた場所に避難をしました。本講演では、そうした避難者が直面した事実の一部を紹介し、みなさんに考えていただく機会としたいと思います。

◆2018年11月14日(水)15:10~16:40

場 所:メアリー・イザベラ・ランバスチャペル(西宮聖和キャンパス)

◆2018年11月15日(木)

場 所:Ⅱ号館201号教室(神戸三田キャンパス)11:10~12:40

場 所:関西学院会館「光の間」(西宮上ヶ原キャンパス)15:10~16:40

◆講師／松田曜子(長岡技術科学大学准教授)

*本講演会では手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。また、録音、録画を行い図書館資料として保存しますのでご活用下さい。

●オルガン音楽の泉 2018 Fall semester

パイプオルガンの響きに想うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第29回 11月16日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第30回 12月5日(水) 桑山 彩子(京都カトリック河原町教会オルガニスト)

いずれも12:50~13:20[開場12:40予定]

と ころ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。

参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

と き:12月21日(金)17:30開場 18:30開始 20:50終了予定

と ころ:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

参加費(入場料):2000円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売:

*関西学院大学生協(TEL 0798-53-5150)

*チケットぴあ(TEL 0570-02-9999) Pコード 130-125

*ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:サークルK、サンクス、セブン・イレブン

*ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333)

お問合せ:関西学院宗教センター(TEL 0798-54-6018)

主催:関西学院 共催:関西学院後援会・関西学院同窓会